



『盈たして進む III』

盈進小学校は歩みを止めません！

えいしんまつりが終わってホッと一息……とんでもない！ 盈進小学校は、2学期終了まであと少しとなっても、次の学びへと進んでいます。

12月からは、全校児童で「走ろう運動」に取り組んでいます。主なねらいは2つ。

①体力をつける

②**継続する（粘り強い）心を養う** です。その他にも、心と体を目覚めさせる効果もあります。朝（登校後）、昼休みなど学校内で時間がある時に自主的に取り組んでいて、心なしか、普段よりも登校が早い子どもが増えたような気がします。やる気に満ちていていいですね。体育委員会が、5段階のマラソンカードを準備し、次のカードにステップアップした児童を昼の放送で紹介します。

頑張って取り組んだ結果、「みずから名人」や「つづける名人」が増えるとともに、困難にもへこたれずに立ち向かう「たくましい」子ども達に成長してくれるでしょう。さらには、1月28日の『校内持久走大会』、2月2日開催の富江町内のイベント『ブルーラインマラソン』への参加意欲にもつながることを期待しています。



富江小との交流（6年生）

12月5日の午後には、6年生が富江小学校の6年生と交流学习をしました。5時間目は、音楽科の授業で、合唱「星の世界」、合奏「風を切った」の学習をしました。盈進小の子ども達にとっ

ては、普段の倍以上の人数になることで、声の重なり方に感動したり、たくさんの楽器の音の迫りに驚いたりしながら過ごしました。6時間目は、お互いに様子をうかがいながら？落ち着いた時間の流れでした。もっと、積極的に発表して盈進っ子魂を見せてくれると良かったのですが…。まあ、仲良く過ごしてくれたのが一番です。次回は、2月。卒業へ向かっていく活動の中で、お互いに成長した交流になると思います。とても楽しみです。

お互いを認め合い、支え合って

12月6日、人権集会を実施しました。いじめや差別のない学級、学校づくりをめざす取組の一つです。子ども達の感想の中で一番多かったのが「人間コピー機」というゲームでした。遠くに貼られている一枚の絵をグループのメンバーが一人ずつ見に行き、書かれていることを覚えて戻り、配られた白紙に書き加えていきます。決められた時間の中で、本物の絵にどれだけ近づけられるか！協力することと責任を果たすことの重要性を学びながら、友達のいいところをたくさん見つけていました。

